

SPECIFICATIONS

主要諸元

タイプ		EX・BLACK STYLE	EX	LX
駆動方式		FF		
車名・型式		ホンダ・6AA-ZE4☆		
トランスミッション		電気式無段変速機		
寸法・重量・乗車定員	全長(m)	4.675		
	全幅(m)	1.820		
	全高(m)	1.410		
	ホイールベース(m)	2.700		
	トレッド(m) 前/後	1.545/1.565		
	最低地上高(m)	0.130		
	車両重量(kg)	1,390		1,370
	乗車定員(名)	5		
	客室内寸法(m)	長さ/幅/高さ 1.925/1.535/1.160		
原動機	エンジン	原動機型式	LEB-H4	
		エンジン型式	LEB	
		エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置	
		弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2	
		総排気量(L)	1.496	
	電動機(モーター)	内径×行程(mm)	73.0×89.4	
		圧縮比	13.5	
		燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)	
		使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン	
		燃料タンク容量(L)	40	
	性能	電動機型式	H4	
		電動機種類	交流同期電動機	
		エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm) 80[109]/6,000	
		電動機(モーター)	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm) 134[13.7]/5,000	
		最大出力(kW[PS]/rpm)	96[131]/4,000-8,000	
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	267[27.2]/0-3,000	
燃料消費率(国土交通省審査値)	JC08		31.4	34.2
	WLTC		25.6	28.4
	市街地モード(WLTC-L)		22.8	25.8
	郊外モード(WLTC-M)		27.1	29.7
	高速道路モード(WLTC-H)		26.2	28.8
	主要燃費向上対策		ハイブリッドシステム、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング	
	最小回転半径(m)		5.3	
	動力用主電池		リチウムイオン電池/60	
	動力伝達・走行装置		第一:2.454(電動機駆動) 0.805(内燃機関駆動) 第二:3.421	
	減速比		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)	
ステアリング装置形式	タイヤ(前・後)		215/50R17 91V	215/55R16 93V
	主ブレーキの種類・形式		油圧式ベンチレーテッドディスク	
	サスペンション方式		油圧式ディスク	
	スタビライザー形式		マクファソン式	
	減速比		マルチリンク式	
	タイヤ(前・後)		トーションバー式	
	主ブレーキの種類・形式		トーションバー式	
	サスペンション方式		トーションバー式	
	スタビライザー形式		トーションバー式	
	減速比		トーションバー式	

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

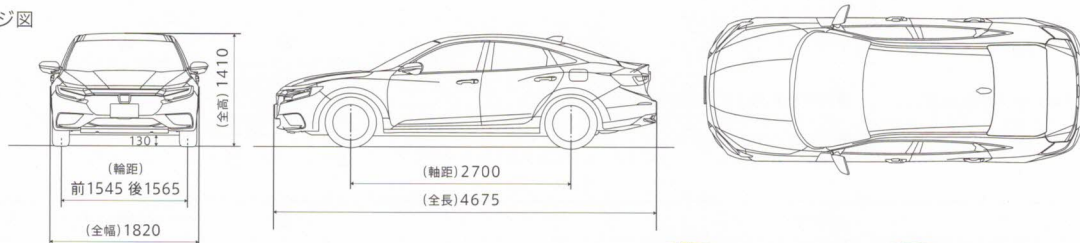
☆印の車両は、自動車取得税、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(取得税は2019年3月31日まで、重量税は2019年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2019年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。)詳しくは販売会社へお問い合わせください。

■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■INSIGHT、アレルフリー、エコアシスト、Honda SENSING、i-MMD、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PGM-FI、プライムスムース/Prime Smooth、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。■Apple CarPlay、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。■iOSは、米国およびその他の国々で登録されたCisco Systems, Inc.の商標です。■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。■プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。■Ultrasuede®、ウルトラスエード®は東レ株式会社の登録商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

寸法イメージ図

単位: mm

LX



環境仕様

基礎情報	車両型式	6AA-ZE4			
	原動機	LEB-H4			
	総排気量(L)	1.496			
	駆動装置	駆動方式	FF		
		変速機	—		
環境性能情報	燃料消費率*1	JC08	燃費(km/L)	34.2	31.4
			CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	67.9	73.9
		参考	平成32年度燃費基準+50%達成車		
			燃費(km/L)*2	28.4	25.6
		WLTC	市街地モード(WLTC-L)	25.8	22.8
			郊外モード(WLTC-M)	29.7	27.1
			高速道路モード(WLTC-H)	28.8	26.2
			CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	81.7	90.7
			排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減
			試験モード	WLTCモード	

環境性能情報	排出ガス	認定基準値	CO	1.15
		(単位: g/km)	NMHC	0.025
		参考	NOx	0.013
		適合騒音規制レベル	九都県市指定低公害車の基準に適合	
		エコアコン冷暖	種類/GWP値*3	平成28年騒音規制 規制値:加速走行72dB(A)
	車室内VOC	使用量	HFC-134a/1430*4	
		使用量	430g	
		樹脂	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
		水銀	自工会2006年目標達成(1996年使用量*5の1/10)	
		六価クロム	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)	
環境負荷物質削減	リサイクル	カドミウム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
		樹脂、ゴム部品への材料表示	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
		リサイクルしやすい材料*7を	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
		使用した部品	アンダーコート、バンパーフェースなどの内外装部品	
		再生材を使用している部品	バッテリーボックス	
	その他	リサイクル可能率	車全体で95%以上*8	
		グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車	
		CO ₂ 排出量	平成32年度燃費基準+50%達成車	
		CO ₂ 排出量	平成30年排出ガス基準75%低減レベル	
		CO ₂ 排出量	75%低減レベル	

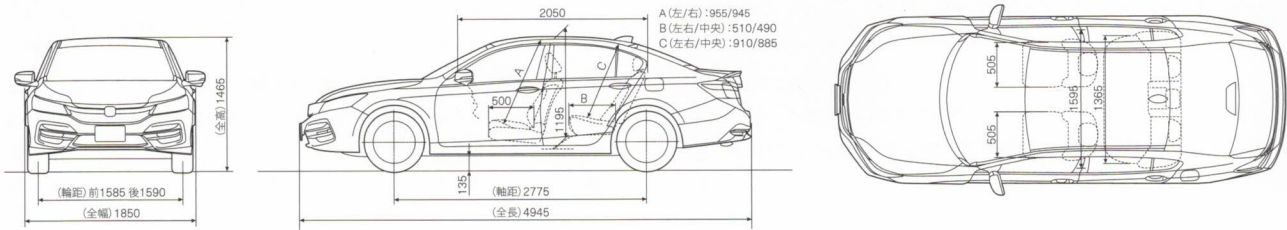
*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。*3 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *4 フロン法において、カーエアコン冷暖は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。*5 1996年乗用車平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2018年12月現在のものです。

主要諸元

		HYBRID LX		HYBRID EX	
タイプ		FF			
駆動方式		ホンダ・DAA-CR7☆			
車名・型式 寸法・重量・乗車定員	全長(m)/全幅(m)/全高(m)	4.945/1.850/1.465			
	ホイールベース(m)	2.775			
	トレッド(m) 前/後	1.585/1.585		1.585/1.590	
	最低地上高(m)	0.135			
	車両重量(kg)	1,580		1,600	
	サンルーフ装着車(kg)	—		1,610	
	乗車定員(名)	5			
	客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ	2.050/1.595/1.195(サンルーフ装着車1.145)			
原動機	エンジン	原動機型式	LFA-H4		
		エンジン型式	LFA		
		エンジン種類・シリンダー数 及び 配置	水冷直列4気筒横置		
		弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2		
		総排気量(L)	1.993		
		内径×行程(mm)	81.0×96.7		
		圧縮比	13.0		
		燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)		
	使用燃料種類/燃料タンク容量(L)	無鉛レギュラーガソリン/60			
	電動機(モーター)	電動機型式	H4		
性能	エンジン	電動機種類/定格電圧(V)	交流同期電動機/700		
		最高出力(kW[PS]/rpm)	107[145]/6,200		
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	175[17.8]/4,000		
		電動機(モーター)	最高出力(kW[PS]/rpm)	135[184]/5,000 - 6,000	
	電動機(モーター)	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	315[32.1]/0 - 2,000		
		燃料消費率(km/L) JC08→走行(国土交通省審査値)	31.6		30.0
		主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング		
		最小回転半径(m)	5.7		5.9
動力用主電池	種類/個数	リチウムイオン電池/72			
動力伝達・走行装置	減速比	第一:2.454(電動機駆動) 0.805(内燃機関駆動) 第二:3.421			
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)			
	タイヤ 前・後	225/50R17 94V		235/45R18 94W	
	主ブレーキの種類・形式 前/後	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク			
	サスペンション方式 前/後	マクファーソン式/ダブルウィッシュボーン式			
	スタビライザー形式 前・後	トーション・バー式			

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ☆印の車両は、自動車取得税、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(取得税は2017年3月31日まで、重量税は2017年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2017年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。) 詳しくは販売会社へお問い合わせください。 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。 ■ACCORD、アレルフリー、エコアシスト、G-CON、Honda SENSING、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PGM-FI、SPORT HYBRID i-MMD、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。 ■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 ■HDMI®、HDMI®ロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。 ■Apple CarPlay™、iOS、iPhone®は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。 ■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。 ■プラスマクラスターマークおよびプラスマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。 ■ヘルプネット®は株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。 ■製造事業者:本田技研工業株式会社

寸法イメージ図 単位:mm HYBRID EX メーカーオプション非装着車



環境仕様



「平成32年度燃費基準+20%達成車」



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

基礎情報	車両型式		DAA-CR7		環境性能情報	適合騒音規制レベル		平成10年騒音規制 規制値:加速走行76dB(A)	
	原動機	型式	LFA-H4			エアコン冷媒	種類/GWP値*2	HFC-134a/1430*3	
環境性能情報	駆動装置	駆動方式	FF		環境性能情報	使用量		430g	
	燃料消費率	JC08→燃費(km/L)*1	31.6	30.0		車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
		CO2排出量(g/km)	73.5	77.4	環境性能情報	環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年目標達成(1996年使用量**の1/10)	
		CO2排出量(g/km)	73.5	77.4			水銀	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*5)	
		参考	平成32年度燃費基準+20%達成車		環境性能情報		六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
		参考	平成17年排出ガス基準75%低減				カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成17年排出ガス基準75%低減		環境性能情報	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
		JC08H+JC08C	CO	1.15			リサイクルし易い材料*6を使用した部品	バンパーフェースなどの内外装部品	
環境性能情報		モード認定基準値	NMHC	0.013	環境性能情報		再生材を使用している部品	エアコンダクト	
		(単位:g/km)	NOx	0.013			リサイクル可能率	車全体で95%以上*7	
		参考	九都県市指定低公害車の基準に適合		環境性能情報	その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車	
		参考	九都県市指定低公害車の基準に適合						

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) *3 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。 *4 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。 *5 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。 *6 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。 *7 「新車種のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基き算出。 ※この環境仕様書は2016年5月現在のものです。